

令和元年 (2019年) 9月27日 (金) - 29日 (木)

フィールド科学演習の一環として「野外観察-干潟の機能-」が、上記日程で3日間ハチ干潟 (竹原市) で行われました。



1日目(1班: 担当 大塚 教授・近藤 助教)

ハチ干潟に向かう学生と教員・TA (a).
干潟で見つけたカブトガニを観察する学生 (b, c).
ハチ干潟の波打ち際で生物採集を行う学生風景 (d).
大塚教授による干潟生物の解説中に渡されたタマシキゴカイの卵塊を手を持つ学生ら (e).



2日目 (2班: 担当 加藤 准教授・近藤 助教)

加藤准教授による干潟観察についてのガイダンス(f). 干潟観察風景(g). カブトガニを手に乗せる学生(h, i). タマシキゴカイの卵塊を採集する学生 (j). 加藤准教授・近藤助教による海藻を含む干潟生物の解説風景 (k).



3日目(3班: 担当 大塚 教授・近藤 助教)

巢穴から出入りするハクセンシオマネキの様子を観察する学生. 泥面に多く開いた穴は本種の巢穴 (l). カブトガニを観察する学生(m). 採集したカニを手にする学生 (n). ハボウキガイを観察する学生 (o). 大塚教授による干潟生物の解説風景 (p). ハチ干潟での集合写真=実習に参加した学生と教員・TA (q).